

厚生労働省における主な薬物乱用防止対策



1. 予防啓発（目標1）

(1) 青少年に対する予防啓発

○啓発読本の作成・配布

- ・小学6年生の保護者用啓発読本
(薬物全般)



配布実績
21年度 117万部

- ・中学1年生用啓発読本
(MDMA・大麻・違法ドラッグ)



配布実績
平成21年度:120万部
(全中学1年生)

- ・高校3年生用啓発読本
(覚せい剤・大麻・MDMA・違法ドラッグ)



配布実績
平成21年度:111万部
(全高校3年生)

- ・青少年用啓発読本(有職・無職者向け)
(薬物全般)



配布実績
21年度 37万部

※いずれも厚生労働省ホームページより入手可能

(<http://www.mhlw.go.jp/bunya/iyakuhin/yakubuturanyou/index.html>)

○薬物乱用防止キャラバンカーを活用した広報事業

薬物乱用防止教育にキャラバンカーを

薬物乱用防止キャラバンカー

キャラバンカーは：■薬物標本、人体模型、パネルなどの展示コーナー■パソコンによる薬物乱用防止ゲームコーナー■DVDシステムによる薬物問題のデータコーナー■ホームページによる薬物問題の百科事典コーナー■立体映像(3Dシステム)コーナー■薬物乱用防止教室見学のプリントシール及びデジタルカメラプリントコーナー■ビデオコーナーを搭載しており、専門の指導員による解説もあり、薬物乱用防止に関する正しい知識が容易に理解できるように工夫されています。

- 学校啓発は、1クラスにつき、1校時の時間帯を目安。(小学校は45分、中学校、高校は50分。)
- 一般向啓発は、1行程で15人程度収容でき、約15分所要。
- キャラバンカーの大きさ
全長 9m 全幅 2.3m
全高 3m 重量 8t



◎展示コーナー

①薬物標本 ②人体模型

③パネル

◎映像コーナー (最先端技術による音と映像)

①パソコンゲーム ②DVD 薬物問題基礎講座

③インターネットホームページ (薬物問題百科事典) ④立体映像 (3Dシステム)

◎ビデオ放映

プラズマ画面40インチ・モニターによる当センター製作の薬物乱用防止啓発ビデオを放映します。



◎フォトクラブまたはデジカメコーナー

薬物乱用防止キャラバンカーの見学記念として、フォトシールまたはデジタルカメラプリントをサービス。



◎乱用される危険のある薬物

乱用される薬物は、私たちの一番大切な脳(中枢神経)を破壊します。乱用される薬物の作用は、脳への影響によって次のように分けられます。

- 興奮作用 ……脳を刺激して興奮させる
- 幻覚作用 ……実際にはないものが見えたりない音が聞こえたりする
- 抑制作用 ……脳を麻痺させて気分をしずみこませたり眠らせたりする

<p>●興奮作用</p> <p>覚せい剤</p> <p>MDMA</p> <p>2C-B</p> <p>コカの葉</p> <p>塩酸コカイン</p>	<p>●幻覚作用</p> <p>マジックマッシュルーム</p> <p>大麻(マリファナ)</p>
<p>●抑制作用</p> <p>有機溶剤 (シナー、トルエン、揮発油など)</p> <p>けし</p> <p>あへん系麻薬 (ヘロインなど)</p> <p>向精神薬 (睡眠薬、精神安定剤など)</p>	<p>脱法ドラッグ</p> <p>吐き気、頭痛、精神への悪影響や意識障害が起るおそれがあり、麻薬や覚せい剤と同様の危険性が指摘されています。</p>

*見学者にはパンフレット等の配布も行っていきます。

【キャラバンカーの稼働状況】

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
運行数(箇所)	1,380	1,302	1,292	1,271	1,350
うち小学校	787	831	864	863	915
うち中学校	299	258	273	248	251
うち高校	52	36	28	29	28
その他※	242	177	127	131	156
見学者数(人)	175,461	136,661	166,186	171,726	195,427

※その他は地域行事等